

2023年2月期 第3四半期 決算補足説明資料

株式会社関通
(証券コード：9326)

2023年1月13日



目次

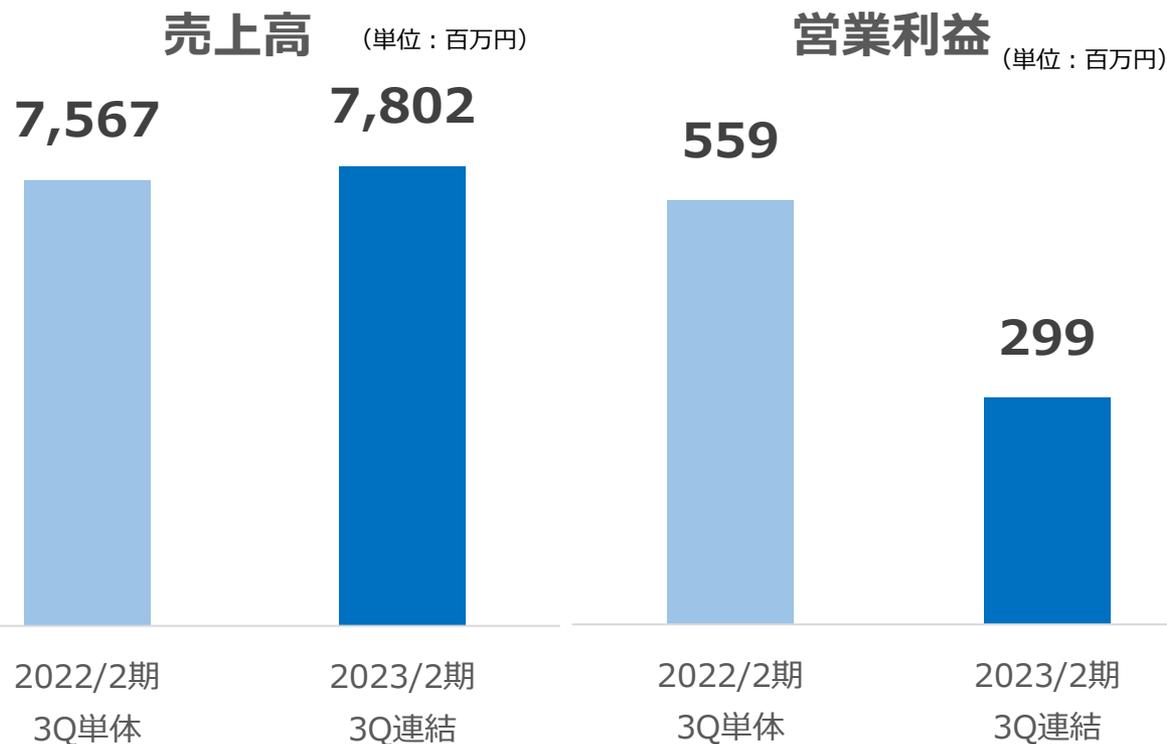
I . 四半期決算概要	3
II . セグメント別業績	9
III . 今後の展開	17
IV . 業績予想	23
V . ご参考資料	27

I . 四半期決算概要

業績のポイント | 前年同期比

売上高 7,802 百万円 (前年同期比 3.1 %増)

営業利益 299 百万円 (前年同期比 46.4 %減)



《売上高の推移のポイント》

- ◆物流サービス事業
 - ・コロナ禍の反動減、中国ロックダウンによる一時的な国際物流網の停滞・遅延の影響により、**既存のお客様売上が前年同期比約10%減**
 - ・**新規のお客様獲得は堅調に推移し、セグメント合計では前年同期比2.5%増**
- ◆ITオートメーション事業
 - ・新規のお客様獲得は堅調に推移し、**利用料収入は順調に増加**
 - ・カスタマイズ売上等を計上したことにより、**前年同期比14.4%増**

《営業利益の推移のポイント》

- ◆物流サービス事業
 - ・新設の**物流センターでの空床期間**が影響
- ◆ITオートメーション事業
 - ・新規契約の獲得により利益水準が向上し、**前年同期比23.9%増**

* 当社は2023年2月期第1四半期から連結決算に移行いたしました。本資料における前年同期比較情報は、前年同期の単体決算数値と比較しております。

2023年2月期第3四半期 業績のサマリー

(単位：百万円，%)

	2023/2期3Q [連結] [累計実績]	前年同期比		2022/2期3Q [単体] [累計実績]
		増減額	増減率	
売上高	7,802	234	3.1	7,567
売上総利益	1,043	△134	△11.4	1,178
販管費	744	124	20.1	619
営業利益	299	△259	△46.4	559
経常利益	276	△253	△47.9	530
四半期純利益	182	△182	△50.0	365
EPS (円)	17.81	—	—	36.15

* 2021年9月1日付で株式分割（1：3）を行っております。EPSは当該株式分割が2022/2期の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して算定しております。

事業セグメント別 売上高および営業利益

(単位：百万円, %)

		2023/2期 3Q [連結] [累計実績]	前年同期比 増減率	2022/2期 3Q [単体] [累計実績]
物流サービス事業	売上高	7,352	2.5	7,175
	営業利益	168	△63.8	466
ITオートメーション事業	売上高	365	14.4	319
	営業利益	122	23.9	99
その他の事業	売上高	83	15.8	72
	営業利益	8	—	△5
合計	売上高	7,802	3.1	7,567
	営業利益	299	△46.4	559

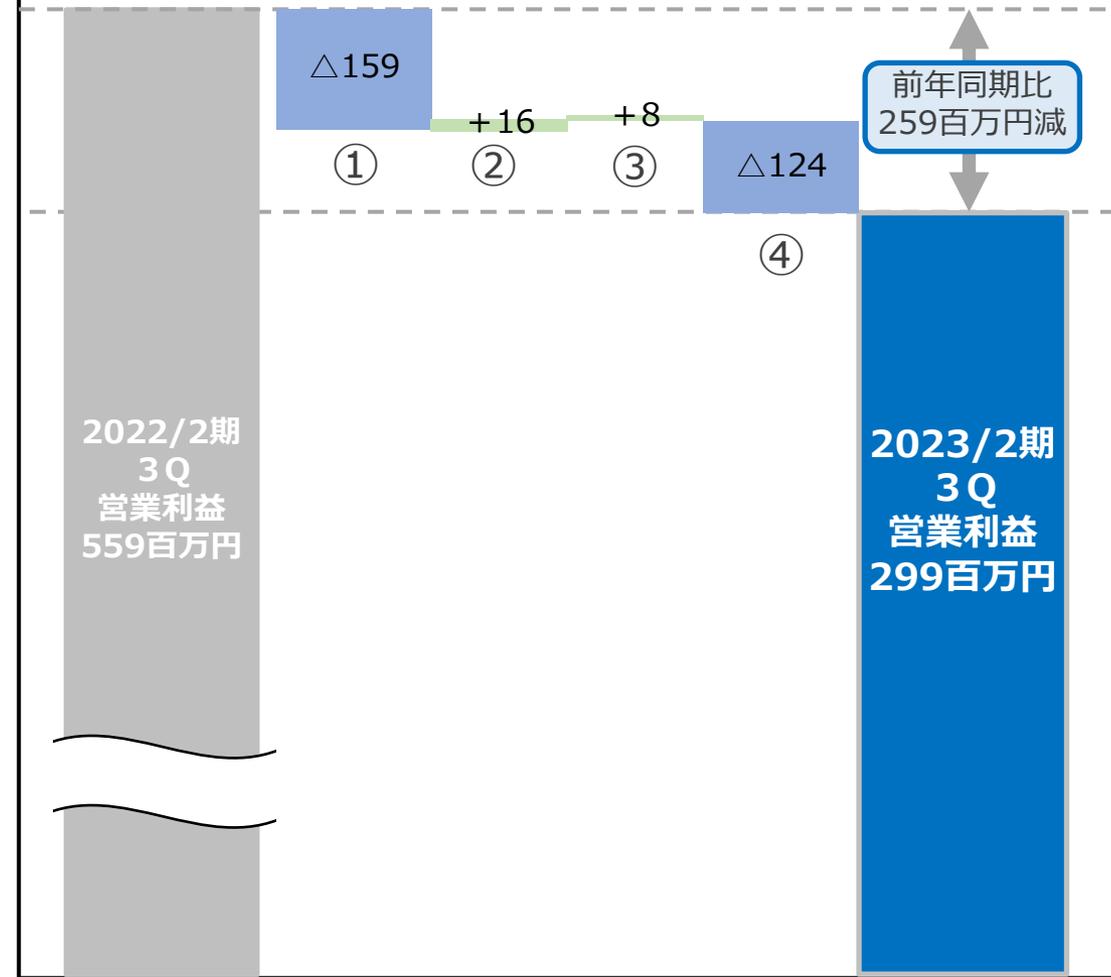
営業利益の増減要因

① 物流サービス事業の売上総利益の減少

・ 既存のお客様の販売減少（昨対比）を起因とした、物流量の減少が発生。
 ・ 減少した分野は、アパレルEC業界。
 複合的な要因を観測済みであるが、特筆すべきは、外資系ファストファッションの日本EC・アプリコマースへの進出加速によるものが見られる。
 ※しかしながら、当社が行う物流業務については、美容・サブリ・雑貨など多様な業界への対応があり、伸長した業界もある。

また、新設の物流センターでの空床期間も影響。

(単位：百万円)



② ITオートメーション事業の売上総利益の増加
 ・ 利用料は順調に増加し、スポット売上も計上。

③ その他の事業の売上総利益の増加

④ 販管費の増加 (△)
 ・ 本社事務所賃借料
 ・ 租税公課
 ・ 減価償却費 (サーバー投資等)

要約貸借対照表

(単位：百万円，%)

	2023/2期3Q末 [連結]		前期比 増減額		2022/2期末 [単体]	
	金額	構成比			金額	構成比
流動資産	4,252	43.4	△421		4,673	49.3
現金・預金	2,529	25.8	△688	冷凍冷蔵倉庫等の設備資金支払い、法人税等の納税による減少	3,218	33.9
売上債権	1,307	13.4	170		1,136	12.0
その他	415	4.2	97		318	3.4
固定資産	5,538	56.6	727	冷凍冷蔵倉庫等の設備投資による増加	4,810	50.7
有形固定資産	3,622	37.0	503		3,119	32.9
無形固定資産	373	3.8	78		295	3.1
投資その他資産	1,541	15.7	144		1,396	14.7
資産合計	9,790	100.0	306		9,484	100.0
流動負債	1,625	16.6	△382		2,007	21.2
仕入債務	340	3.5	36		303	3.2
有利子負債	903	9.2	33	設備資金に係る未払金の支払い、及び未払法人税等の納税による減少	869	9.2
その他	382	3.9	△452		835	8.8
固定負債	5,353	54.7	603	長期借入金の増加	4,750	50.1
有利子負債	4,726	48.3	403		4,323	45.6
その他	626	6.4	199		426	4.5
負債合計	6,978	71.3	221		6,757	71.3
純資産合計	2,811	28.7	85		2,726	28.7
負債純資産合計	9,790	100.0	306		9,484	100.0

Ⅱ. セグメント別業績

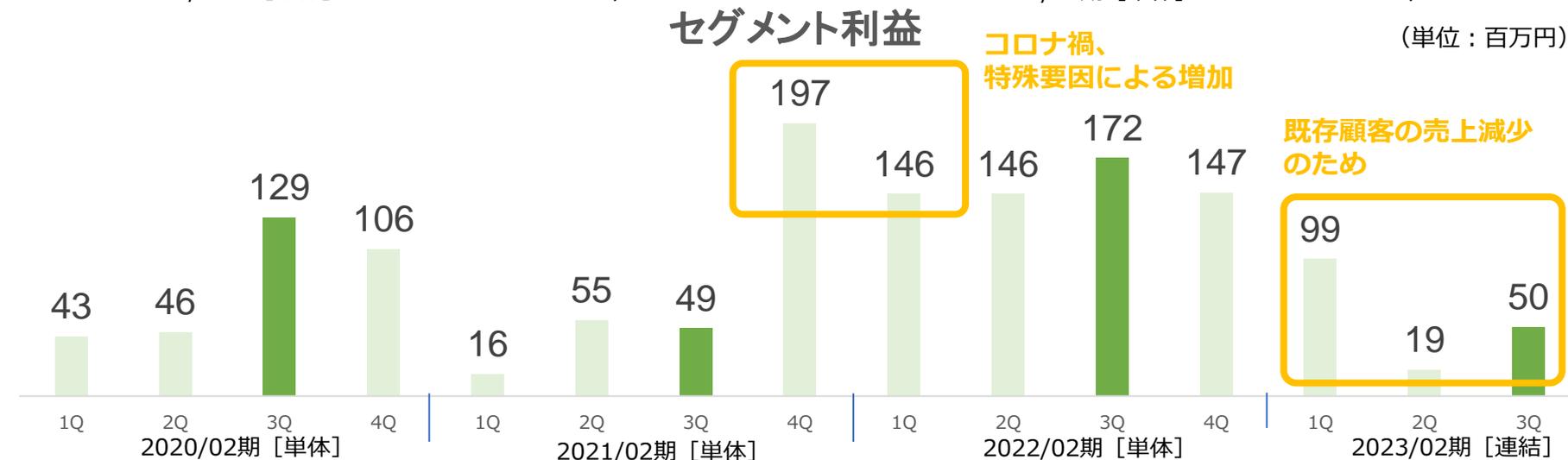
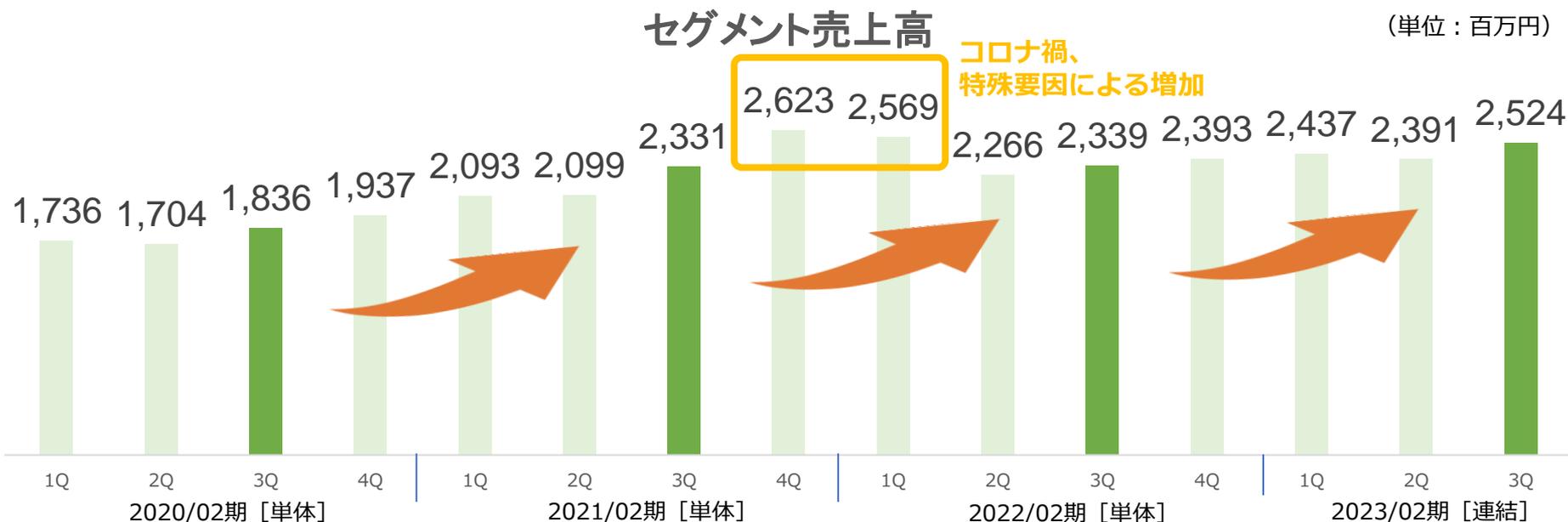
物流サービス事業の業績

物流サービス事業

(単位：百万円，%)

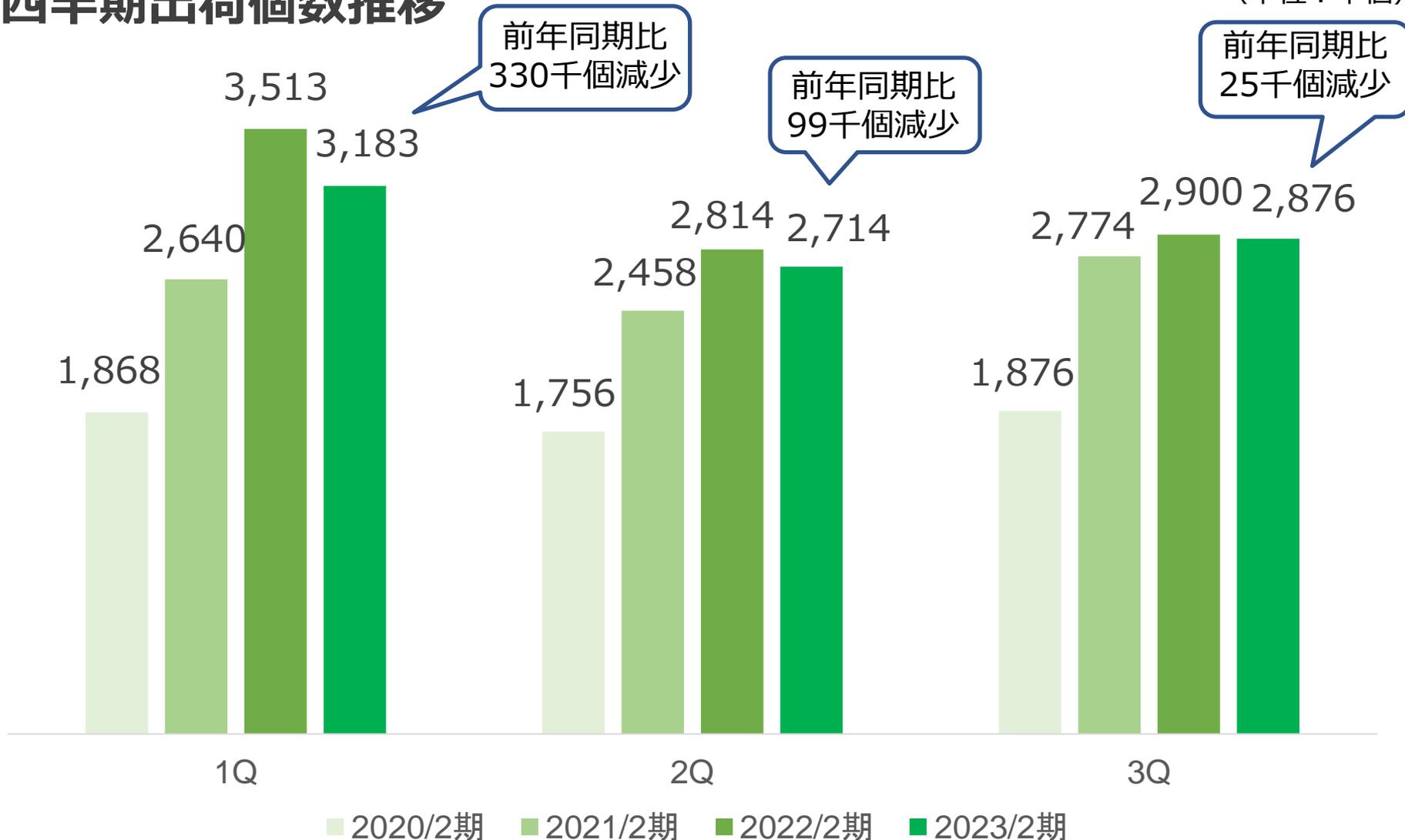
		2023/2期 3Q [連結] [累計実績]	前年同期比 増減率	2022/2期 3Q [単体] [累計実績]
EC・通販物流支援サービス	売上高	7,194	2.1	7,046
	受注管理業務代行サービス	89	9.4	81
	その他	68	45.2	47
セグメント合計	売上高	7,352	2.5	7,175
	営業利益	168	△63.8	466

投資対象	投資予定額	既払金	投資予定期間
物流センターの新設・開設	2,092	692	2021/03～ 2026/02
物流センターへの物流ロボット等の導入	420	3	2022/07～ 2024/02
合計	2,512	696	



四半期出荷個数推移

(単位：千個)



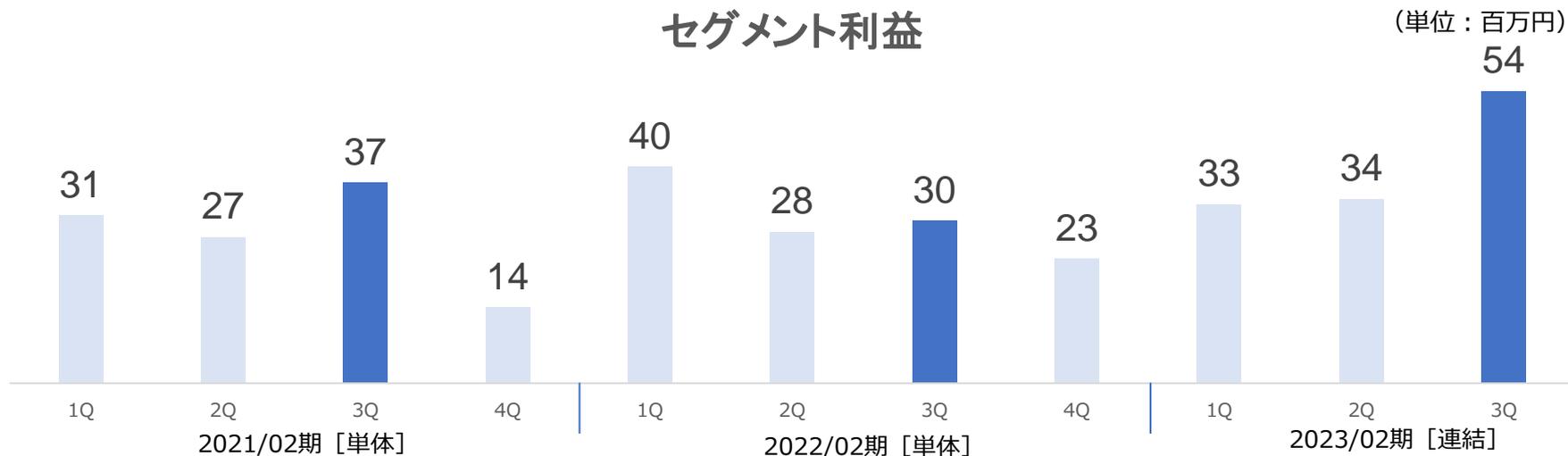
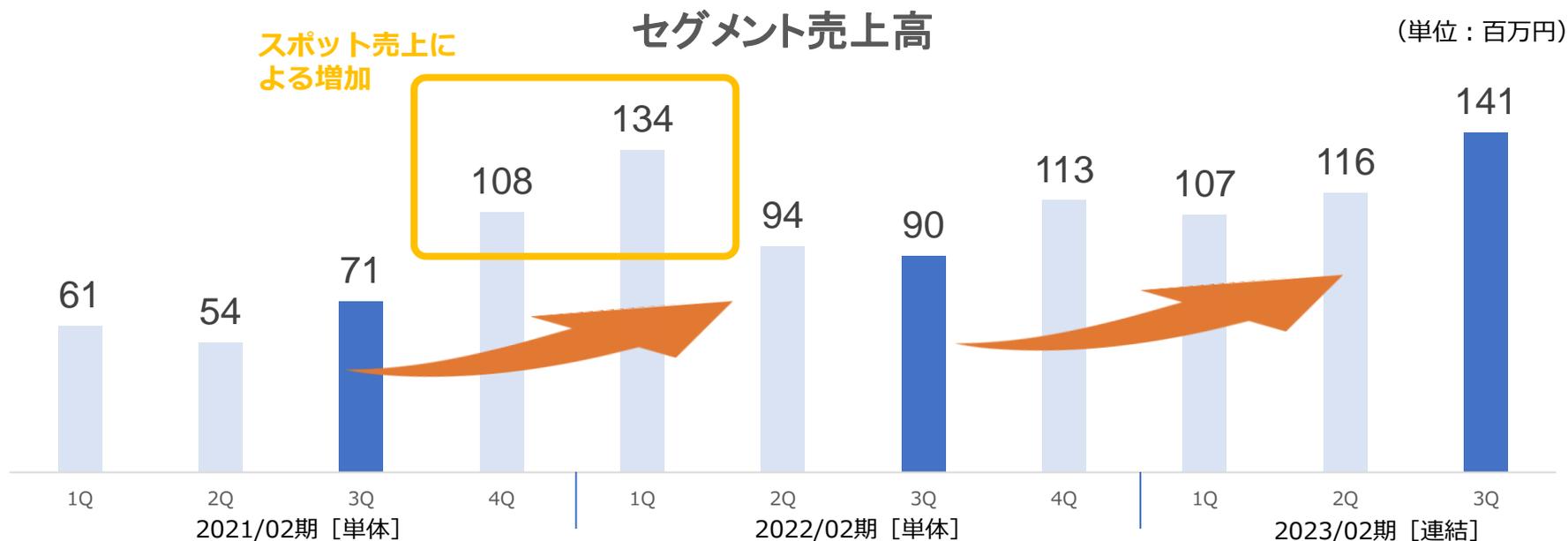
ITオートメーション事業の業績

ITオートメーション事業

(単位：百万円, %)

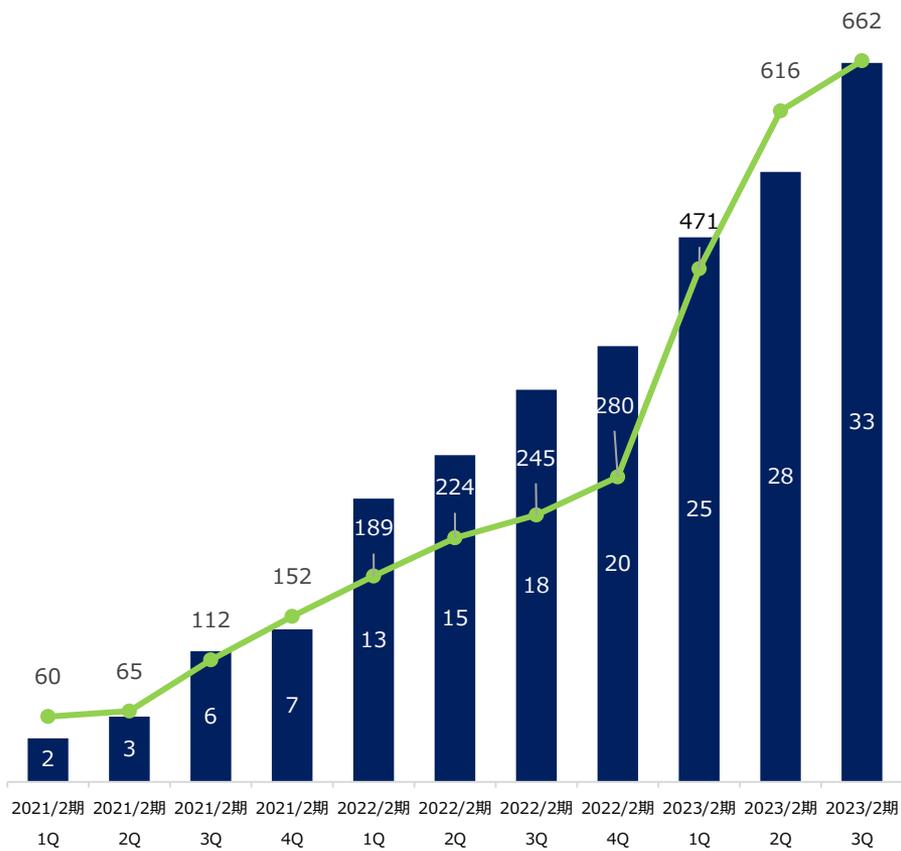
		2023/2期 3Q [連結] [累計実績]	前年同期比 増減率	2022/2期 3Q [単体] [累計実績]
クラウドトーマス	売上高	260	9.8	237
アニー	売上高	87	22.7	70
その他	売上高	18	58.4	11
セグメント合計	売上高	365	14.4	319
	営業利益	122	23.9	99

投資対象	投資予定額	既払金	投資予定期間
ソフトウェアの開発	450	204	2021/03~ 2024/02
合計	450	204	



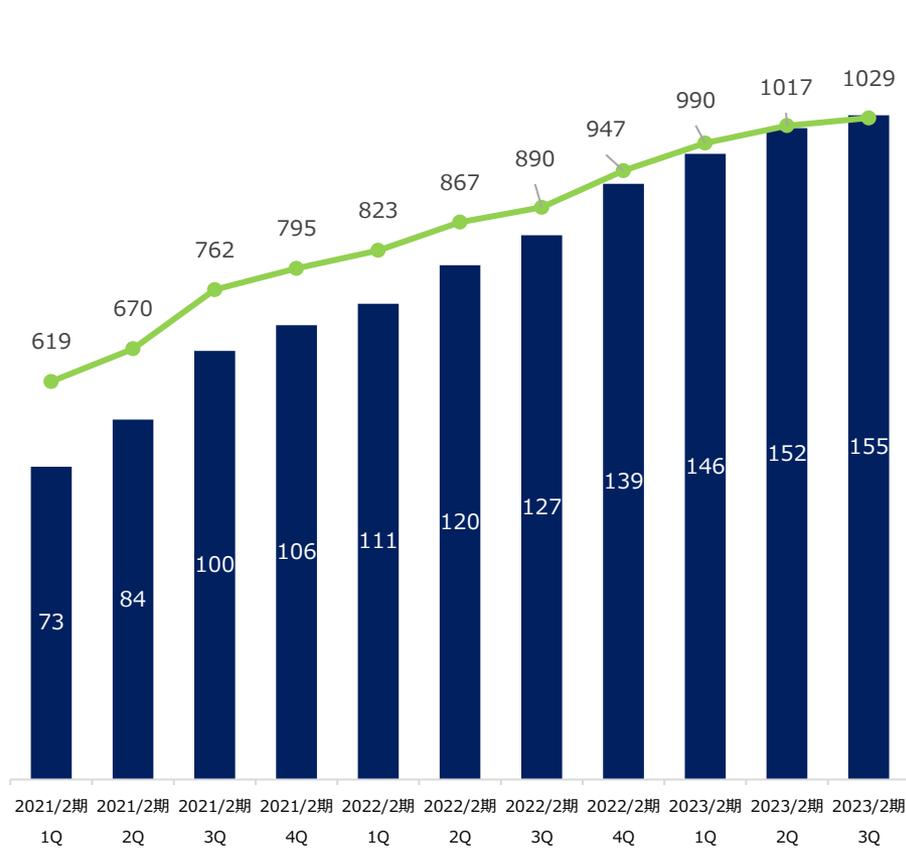
クラウドトーマス/クラウドトーマスProの契約社数は堅調に増加。

クラウドトーマスPro (単位：社, ID)



■ 契約社数 ● 契約アカウント数

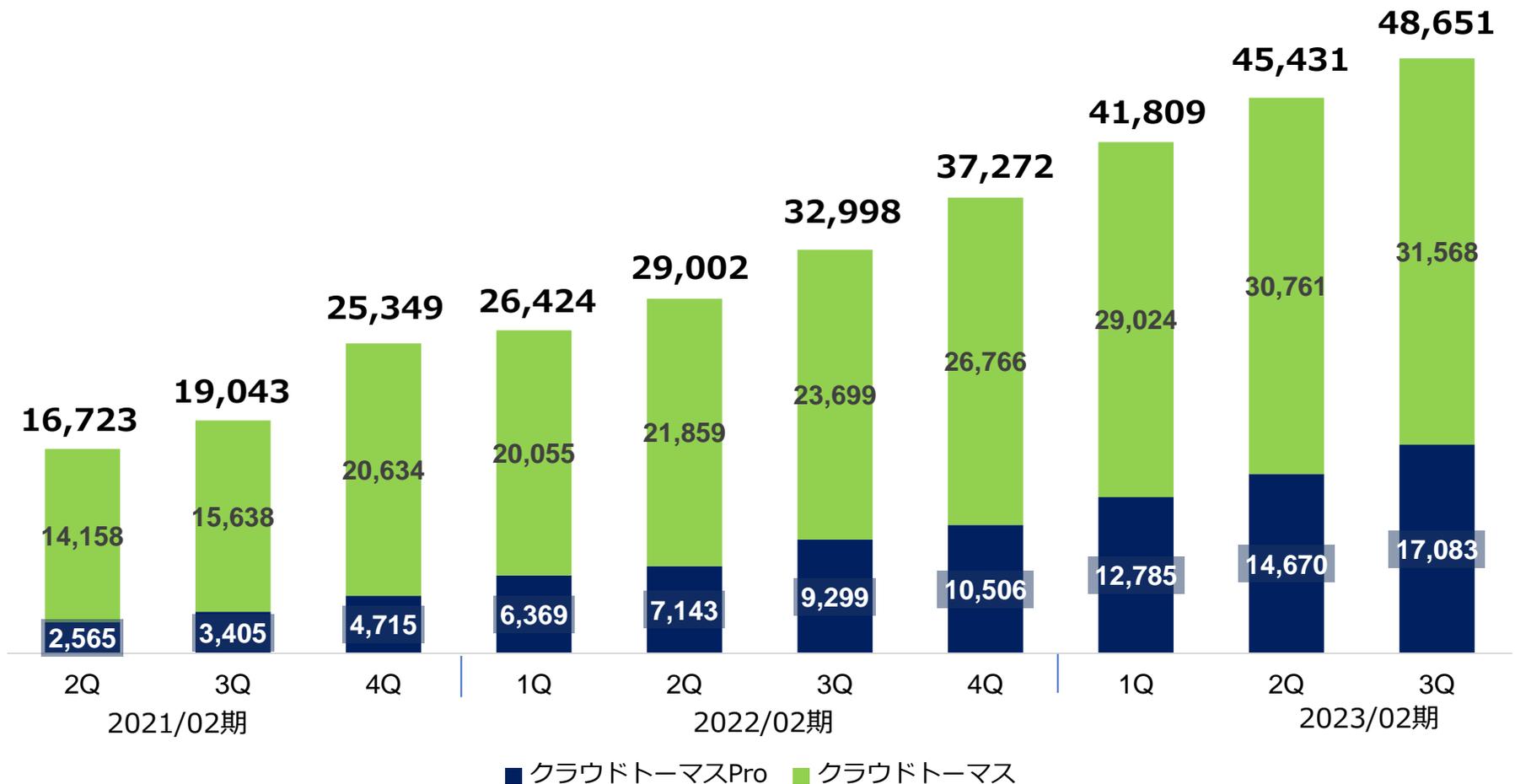
クラウドトーマス (単位：社, ID)



■ 契約社数 ● 契約アカウント数

クラウドトーマス 利用料推移

(単位：千円)



Ⅲ. 今後の展開

お客様のやりたいことを実現できる
サービスを提供する。

代表取締役社長

達城 久裕



市場の変化、為替の変動など、我々のお客様を取り巻く環境も刻一刻と変わっていく中、お客様は販売を拡大するための努力をされておられます。

そのお客様の努力を支え、また促進できますよう、私たち関通も、物流をメインとした各サービスを通じて、最大限の努力をすべき場面であると、強く認識しております。35期から37期において、当社は自動化、DX化を大きく推進し、多くの成果とノウハウを手に入れることができました。

これからは、そのノウハウも活かしつつ、システムだけでは解決できない、泥臭いことも、面倒なことにも積極的に取り組み、お客様にとって「**変えようがない、唯一無二のパートナー**」として認めて頂けますよう、全社を挙げた取り組みを推し進めてまいります。

事業戦略 | 物流サービス事業

当社では、Eコマースを中心としたお客様の「toC物流」だけのご対応ではなく、店舗販売や卸し販売をされるお客様への「toB物流」、また、「toB・toC複合の物流」を数多くご対応させて頂いています。

当社の上位20社様の流通チャネル比率

流通チャネル	①toC専業	②toB専業	③toC・toB複合
比率	47%	16%	36%
内容	Eコマース 定期通販など	卸販売 店舗販売など	①+②の マルチチャネル販売

この実績を活かし、営業領域を拡大します。

- ・ toC物流で培った細やかな物流管理ノウハウとDXをtoB物流へ。
- ・ toB物流で培った現場オペレーション・創意工夫をtoC物流へ。

と、展開させて頂き、お客様の商圈拡大に貢献します。

当社の目指す姿

流通チャネル	①toC専業	②toB専業	③toC・toB複合
比率	20%	20%	60%

事業戦略 | 物流サービス事業

営業領域の拡大に伴い、「新サービス」のご提供を開始します。

物流改善サービス

物流コンサルティング

現地調査

物流診断

セミナー事業

学べる倉庫見学会

ショールーム

物流ノウハウをパッケージ化

物流事業	Cロジスティクス				Bロジスティクス			事務代行・BPO
	ECコマース	定期通販	リユース	D2C	店舗物流	卸物流	レンタル物流	受注処理代行オペレーション
	アプリコマース		ライブコマース		返品物流	FBA対応	外部倉庫出荷	
	常温		冷凍		冷蔵			

物流現場で生まれたITシステム

物流改善サービス

クラウドトーマスPro

クラウドトーマス

物流機器

アニー

自動化の実現

OASIS

e.can

+ リリースを予定しているサービス



輸送



コールセンター



サブリース



DX改善

「BtoBtoC」向け統合物流サービス

アグリベース

Aggre : 積極的 + Base : 基地

当社が物流をさせて頂いている企業様の仕入れ先、もしくは、販売先の企業様に対して、統合物流センターの提案を推進しております。

統合した1つの物流センター運営するメリットは大きく、成功事例も出てきております。

Y社様の事例



統合によるメリット

- ① コスト削減
- ② 販売機会ロスの削減
- ③ SDGs、ESGへの貢献

WMS THOMAS PRO

プロの物流会社開発したWMSとして高評価を得て、事業成長を続けています。ご契約頂くお客様の規模も年々、拡大。大手企業様からの物流相談が急増しています。さらなるお客様貢献と事業成長のために、現在の営業活動に加え、

5つの戦略を打ち出し、取り組みます。

- ① キヤノンITS社と共同で行う、大手企業様へ向けた提案強化
- ② 医療業界の在庫可視化への挑戦
- ③ オリジナル物流機器の開発、商品化
- ④ 物流コンサルの商品化（継続的な現場改善の支援）
- ⑤ 営業、導入、SEの増員によるお客様フォローアップ体制の強化

IV. 業績予想

2023年2月期 業績予想

(単位：百万円, %)

	2023/2期 連結予想	前期比		2022/2期 単体実績
		増減額	増減率	
売上高	10,453	354	3.5	10,099
売上総利益	1,429	△142	△9.1	1,571
販管費	1,078	235	28.0	842
営業利益	351	△378	△51.9	729
経常利益	305	△382	△55.6	687
親会社株主に帰属する 当期純利益	571	107	23.1	463
EPS (円)	55.64	-	-	45.74

* 2021年9月1日付で株式分割（1：3）を行っております。EPSは当該株式分割が2022/2期の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して算定しております。

* 2022年3月1日付で、当社が100%の議決権を有する子会社として株式会社関通ビジネスサービスを設立したことに伴い、2023年2月期第1四半期から連結決算に移行いたしました。

【ご参考】 2023/2期 通期（累計）の連結業績予想の修正

[2022年11月28日公表]

新規のお客様獲得は堅調に推移した一方で、既存のお客様に係る売上高が前年同期を下回る水準で推移したことで、当初の業績予想を下方に修正しました。

2023年2月期通期（累計）連結業績予想数値（2022年3月1日～2023年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	12,002	943	902	608	59.31
今回修正予想（B）	10,453	351	305	571	55.64
増減額（B－A）	△1,549	△592	△596	△37	－
増減率（％）	△12.9	△62.8	△66.1	△6.2	－
（ご参考）前期実績 （2022年2月期）	10,099	729	687	463	45.74

[ご参考] 当第2四半期（累計）の連結業績予想の修正

修正の主な理由

1. 2022/9及び2022/10の月次決算推移を踏まえた見直し

(1) 物流サービス事業の既存のお客様に係る売上高が約10%下回って推移していることを踏まえ、既存のお客様に係る売上高を下方に見直しました。

(2) 物流サービス事業及びITオートメーション事業における新規のお客様に係る売上高の増加見込みについては、受注が確定した案件に限定し、かつ売上高の計上開始時期についても、确实性を重視して見直しました。

2. 特別利益見込額の計上

2023年2月に当社が所有する東大阪主管センターの土地建物の売却する予定となったことで、特別利益1,067百万円を計上する見込みとなりましたので、業績予想の修正に織り込みました。

3. 特別損失見込額の計上

使用を終了する予定となった一部のソフトウェア、物流ロボットの運用変更にもなう固定資産の除却、及び東大阪主管センターの土地建物売却にもなう事業改善損失引当金繰入額を計上する予定となったことで、特別損失494百万円を計上する見込みとなりましたので、業績予想の修正に織り込みました。

V. ご参考資料

会社概要

会社名	株式会社関通	
事業所	関西本社 長田オフィス 東京システム開発部 物流拠点	兵庫県尼崎市西向島町111-4 大阪府東大阪市長田東3丁目3番32号 東洋交易ビル 東京都千代田区神田佐久間町3-37-1 文唱堂ビル 5F 関西13拠点、関東4拠点 [総面積 62,900坪 (2022年11月30日現在)]
設立	1986年4月	
代表者	代表取締役社長 達城久裕	
資本金	787百万円 (2022年11月30日現在)	
上場証券取引所	東京証券取引所グロース (証券コード : 9326)	
従業員数	309名 (2022年11月30日現在・常用雇用者数)	
事業内容	<ul style="list-style-type: none">■ 物流サービス事業<ul style="list-style-type: none">EC・通販物流支援サービス楽天スーパーロジスティクスサービス受注管理業務代行サービス物流コンサルティングサービス■ ITオートメーション事業<ul style="list-style-type: none">倉庫管理システム「クラウドトーマス」チェックリストシステム「アニー」■ その他の事業	



関西主管センター



東京主管センター

当社の規模・拠点について

関西関東合わせて、19拠点（総面積約80,900坪）で物流サービスをご提供。

※掲載している拠点は一部となります。
 ※2024年7月開設予定までの拠点も含まれております。

関東エリア



東京主管センター | 延床面積8,300坪
 〒352-0005 埼玉県新座市中野1丁目13-7



東京第一物流センター | 延床面積4,700坪
 〒351-0101 埼玉県和光市白子1-12-1



関東新物流センター | 延床面積7,900坪
 〒359-0011 埼玉県所沢市大字南永井 513



東京第四物流センター | 延床面積3,400坪
 〒351-0115 埼玉県和光市新倉 5-1-63



東京第三物流センター | 延床面積2,800坪
 〒352-0004 埼玉県新座市大和田3丁目3番21号

尼崎エリア



関西主管センター | 延床面積14,700坪
 〒660-0096 兵庫県尼崎市扇町20番地 4階



関西新物流センターII | 延床面積8,700坪
 〒660-0083 兵庫県尼崎市道意町6丁目36-1



EC通販物流センター | 延床面積5,600坪
 〒660-0857 兵庫県尼崎市西向島町111-4



アグリベース | 延床面積4,300坪
 〒660-0857 尼崎市西向島町 145 番1



D2C物流センター | 延床面積5,200坪
 〒660-0083 兵庫県尼崎市道意町6丁目79

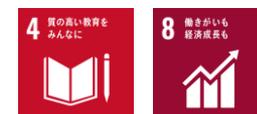


D2CII物流センター | 延床面積4,000坪
 〒660-0857 兵庫県尼崎市西向島町231-2

SDGs への取り組み

区分	取り組み内容	具体的活動
デジタルトランスフォーメーション	物流に関連したICTスキルを伸ばす意欲のある国内外の若者をソフトウェア開発者または物流現場のICT技術導入技術者として雇用し、物流現場のICT技術を活用した管理手法、ソフトウェア開発及びこれに付随する業務に取り組むことで、新しい物流現場の管理手法及びICTスキルの習得を図っています。また、産学連携による取り組み等による物流におけるシステム、ソフトウェアの研究および開発を進めています。	<ul style="list-style-type: none"> ● 物流ロボット・RPA導入 ● 早稲田大学創造理工学部経営システム工学科吉本研究室との産学連携 ● 社内キャリアアップ制度
環境保護	物流で使用する資材のリサイクルに努め、倉庫管理システム「クラウドトーマス」を利用したペーパーレス化のほか、請求書及び契約書のペーパーレス化等も推進しています。また、物流センターへのLED照明導入等による省エネを推進する等、環境問題をはじめとする持続可能性（サステナビリティ）をめぐる課題に対する対応が、当社の持続的な成長を支える基礎となるよう、その体制構築に努めています。	<ul style="list-style-type: none"> ● 梱包資材のリサイクル ● LED照明設置 ● 請求書ペーパーレス化 ● 契約書のペーパーレス化
福祉と教育	障がいをお持ちのお子様向け教育事業として、放課後等デイサービスの教室を運営し、発達障害を抱える児童の学童保育と呼ばれる放課後デイサービスを通じて発達に課題を抱えるお子さまの成長と自立をサポートしております。また、障がいをお持ちの方向けの就労移行支援事業所を運営し、一般企業への就職を目指す発達障がいをお持ちの方に、就職に必要な知識やスキル向上のサポートをしております。そのほか、企業主導型保育事業として保育園を運営しており、地域と積極的に関わりながら教育に取り組んでいます。	<ul style="list-style-type: none"> ● 放課後等デイサービスの運営 ● 就労移行支援事業所の運営 ● 企業主導型保育園運営
ダイバーシティ	ソフトウェア開発者としての外国人雇用、物流現場での外国人技能実習生の継続的な受け入れております。また当社では、女性幹部を積極的に登用するほか、障がい者雇用についても積極的に推進しています。	<ul style="list-style-type: none"> ● 外国人雇用の推進 ● 女性管理職比率 2021年2月末:34.5% 2022年2月末:38.2% ● 障がい者雇用率 2021年度:6.29% 2022年度:5.00% ● 女性育児休業取得率 2021年2月期 取得率:100% 2022年2月期 取得率:100%

関連するSDGs



免責事項及び将来の見通しに関する注意事項

- 本資料において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらのリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。
- 本資料に記載の内容に重要な変動が生じた場合は、本資料を更新・修正することがあります。



【お問合せ先】
株式会社関通 IR担当
お問合せについては、IR専用フォームをご利用ください。
URL : <https://www.kantsu.com/>

IR専用フォーム

